

支援基金だより

Vol.8

2021 Oct.



SDGs、研究推進、産学連携、
グローバル化推進、地域連携担当 理事

おおたに ひろき
大谷 浩

理事からのご挨拶

学生ベンチャー、海外留学、 県内定着支援から音楽教育支援まで

日頃より、多くの皆さまに「島根大学支援基金」へご協力とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。昨年度はコロナ禍で苦しむ学生への支援を含む「経済的理由により就学が困難な学生に対する支援」(使途A)に、多大なご支援をいただきました。これにより多くの本学学生へ緊急一時金、特例授業料免除の支援ができましたことに、重ねて厚く御礼申し上げます。

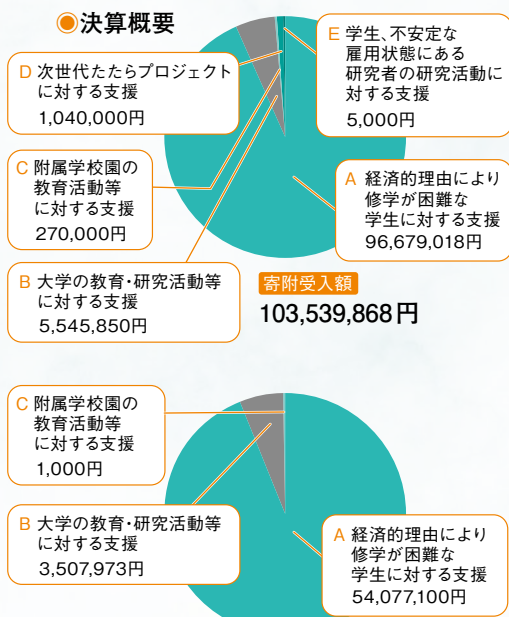
このような学生生活の基盤を支える経済面は極めて重要ですが、さらに学生の教育・研究活動についても、いただいたご支援(使途B)により、学生たちが将来へ向けて大学ならではの貴重な体験を積むことが可能になっています。今回は、このうち「学生ベンチャースタートアップ支援奨励金」で採択された2名の学生からの感謝の言葉をご紹介します。今回は2名とも医学部生ですが、1名はコンサルタントの社会人経験を持つ学士編入学生(他の大学を卒業後本学3年次に編入)で、もう1名の薬学研究員の経験を持つ学士編入学生と協力して地域の名産を地域の企業様と連携して製品化し、すでに起業を進めています。もう1名は医学部にあるベンチャー企業の中での最先端の再生医学研究に低学年から積極的に加わり、学生の立場で後輩につないで継続的に参画する仕組みを創ろうとしているものです。

このほかにも使途Bには、自主的なプログラムにより海外での貴重な留学経験を積むための「グローバルチャレンジ奨学金」や、企業での体験学習を支援する「インターンシップ奨学金」、卒業生の県内定着を支援する「県内定着支援金」、さらには本学の特色でもある「音楽科教育専攻教育活動支援事業」などがあります。意欲的な本学学生が、さまざまな分野において、在学中から積極的に自らの未来への可能性に挑戦する機会を、皆さまからのご寄付が力強く後押ししてくださっています。

大学の最も大切な使命の一つが人を育てることです。島根大学で育った若者たちが県内、全国、世界で活躍できますよう、引き続き皆さまの温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度支援基金 決算報告

●決算概要



●支援基金事業実施額

事業名	事業内訳	支援人数	金額
A 経済的理由により就学が困難な学生に対する支援	夢チャレンジ奨学金	15	3,000,000円
	新型コロナウイルス感染症に係る緊急学生一時金	1265	37,950,000円
	新型コロナウイルス感染症に伴う特例授業料免除事業	49	13,127,100円
B 大学の教育・研究活動等に対する支援	グローバルチャレンジ奨学金	0	※ 0円
	中長期インターンシップ奨学金	0	※ 0円
	学生ベンチャースタートアップ支援奨励金	2	1,000,000円
	県内定着支援金	12	2,000,000円
	教学IR室運営基金	-	28,547円
	医学部医学科病理学講座奨学金	4	200,000円
	教育学部音楽科教育専攻教育活動支援事業	-	279,426円
C 附属学校園の教育活動等に対する支援	附属学校園教育環境整備事業(株式会社日新木育基金)	-	1,000円
D 次世代たたらプロジェクトに対する支援	-	0	0円
E 学生、不安定な雇用状態にある研究者の研究活動に対する支援	-	0	0円

※実施額が0円となったのは新型コロナウイルス感染症の影響で事業が実施できなかったことによるもの。

より詳細な内訳等は下記のURLに掲載しております。

支援基金 HP

<https://www.fund.shimane-u.ac.jp/>



支援基金事業実施額
57,586,073円

学生ベンチャー代表者の声 ①

医学部解剖学講座発生物学／合同会社薬雲代表 竹田 英光さん

この度は私たちの活動にご支援いただきありがとうございます。私たちは東洋医学・西洋医学・地場企業・大学を絡め、ここ島根における雇用の創造、一次、二次、三次産業の振興を目指し活動を開始しました。

まず、地場酒造メーカーと共同で、生薬を用いた薬草酒を製造することとしました。島根県には全国で3つしかないオタネニンジン(朝鮮人参、高麗人参として有名)の産地があり、ここで生産された雲州人参の他、複数の生薬と、酒造メーカー自信の粕取り焼酎をあわせ、健康に良く、風味豊かな薬草酒を製造しました。この製造にあたっては、支援基金事業の「学生ベンチャー支援事業」の支援をいただき、実施することができました。また、支援のお陰で合同会社を設立することができ、社会的な信用を増すこともできました。これらの結果、合同会社設立から2ヶ月弱で200万円強の売上を実現することができました。さらに、この酒造メーカーの販売網を活かして、現在は行っていない店頭での販売チャンネルによる売上増を検討するとともに、アルコールに限らずノンアルコール飲料の開発も着手しております。

今後はこれら商品の販売網を拡張するとともに、新たに別の地場企業と共同で新商品を開発したり、現在島根県においては大根島でしか生産していないオタネニンジンについて島根県のその他の地域での生産に挑戦したり、その他生薬の山間部・休耕地などでの栽培の可能性を探ったり、教育研究や健康に関する啓蒙活動をしたりしていきたいと考えております。

この度はご支援いただき誠にありがとうございました。皆様には引き続き、ご指導ご鞭撻いただきますようよろしくお願い申し上げます。



合同会社薬雲の竹田さん(右)、片岡さん(左)、開発した薬草酒の神名火



ホームページ

オンラインショップ

学生ベンチャー代表者の声 ②

医学部生命科学講座／WiiCybow 代表 田中 航太郎さん

私は医学部生命科学講座で2年次から間葉系幹細胞の未分化性の維持というテーマで研究をしており、在学中に筆頭著者で論文を作成することを目標としています。間葉系幹細胞とは骨や軟骨に分化することのできる細胞で、現在すでに臨床応用されている疾患もあり、さらなる再生医療への応用と発展が期待されています。私は既存の間葉系幹細胞を採取する方法よりもより増殖しやすく分化しやすい(これを未分化性が維持されている状態といいます)間葉系幹細胞を採取する方法を開発しました。これによって間葉系幹細胞の再生医療への応用できる疾患の種類が増加や治療成績の向上が期待されます。

しかし私がこの研究を続けていく上で資金面での問題がありました。1つ目は間葉系幹細胞の実験に使うヒトの骨髄細胞や抗体は非常に高価な試薬であること、2つ目は再生医療の研究をしている医学生が応募できる外部の研究費はなかったということです。支援していただく以前にも有効な実験のデータも出ていましたが資金不足で研究を進められないもどかしさがありました。そういった状況下で学生ベンチャー支援奨励金による支援は大変ありがたく大きく研究を進めることができました。さらにこの支援のおかげで第42回炎症・再生医学会では優秀演題賞を獲得することができました。

今後の目標は開発した手法の効率をさらに向上させ、特許の取得やベンチャー創設につなげていきたいです。こうした支援金は私のような学生を助けていただける素晴らしい制度であり、ご支援いただいた皆様には感謝申し上げます。またこの制度を通して今後も多くの学生をご支援いただきたいと思います。



WiiCybow代表田中さん

感謝状贈呈

新型コロナウイルス感染症により日々の生活に困窮している学生を支援するための「新型コロナウイルス感染症に係る緊急学生一時金」へのご寄附をいただいた株式会社ワールド測量設計様、株式会社出雲村田製作所様、島根大学学生生活推進会様に感謝状を贈呈しました。懇談の場では、学生への心配と激励のお言葉をいただくとともに、「島根大学へは期待している。ぜひ地元へ還元してほしい」との激励の言葉をいただきました。



令和2年12月4日
株式会社ワールド測量設計への感謝状贈呈の様子
株式会社ワールド測量設計代表取締役 和田様(左)、
島根大学藤田基金担当理事(右)



令和2年12月4日
株式会社出雲村田製作所への感謝状贈呈の様子
株式会社出雲村田製作所代表取締役社長 益田様(左)、
島根大学藤田基金担当理事(右)



令和2年12月21日
島根大学学生生活推進会への感謝状贈呈の様子
島根大学学生生活推進会会長 太田様(右)、
島根大学学生生活推進会副会長 平野様(中央)、
島根大学藤田基金担当理事(左)